

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2010・5



まちの人

西区少年野球連盟 会長

さとう けんいち
佐藤 健一さん(58)



■西区少年野球連盟

昭和53年設立。現在、西区内の16チームが加盟し、小学1年生～6年生の児童約530人が活動している。

同連盟では3年前からAED（自動体外式除細動器）2台を備え、使用方法を学ぶ講習会を毎年開催するなど、独自の活動にも力を入れている。



■昨年4月に開催された西区少年野球春季大会の開会式の様子（左端が佐藤さん）。

佐藤さんが少年野球と出会ったのは二十年以上前のこと。「息子が少年野球チームに入団し、練習に付き合っただけで顔を出さずに、コーチをすることになって」ときつかけを話す佐藤さん。少年野球の奥深さに魅せられ、息子さんが卒団した後もチームに残り、監督も務めました。

佐藤さんには野球を通じて子どもたちに伝えたいことが二つあります。一つは集団生活のルールや子ども同士の付き合い方を学ぶこと。「いろいろ経験することで、簡単にはくじけない心が育つはず」との思いがあります。

少年野球に魅せられて

もう一つは、親子のきずなを深めてもらうこと。「中学校に入ると子どもは自立して親子で行動する機会は減ります。小学生が最後のチャンス」と佐藤さん。両親にもできるだけ試合や練習に参加してもらい、みんな子どもたちをばくくみたくて考えています。

佐藤さんは「少年野球との出会いによって人生が大きく変わった」と感じています。以前は人付き合いが得意ではなかったそうですが「渋々参加した父母会が病みつきになって」と笑います。今では積極的にコミュニケーションを取り、人前で話すことも苦ではなくなったとのこと。

さらに「週末は公園の緑の中で体を動かし、子どもたちからはエネルギーをもらえる。心身の健康に良いし、お財布にも優しい」とにっこり。

今後の少年野球の展望については「少子化の影響でチームの統合もあり得るでしょう。将来的には、地域の枠を超えて子どもたちが自由にチームを選び、各チームは魅力アップを競い、そんなふうにして少年野球を盛り上げていければ」と佐藤さんの夢は膨らみます。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp で西区総務企画課広聴係（下欄）へ。